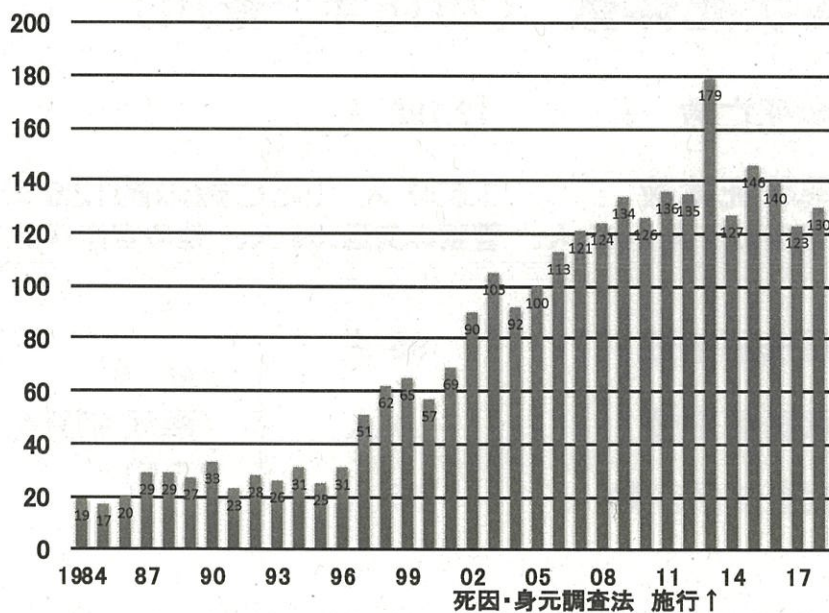
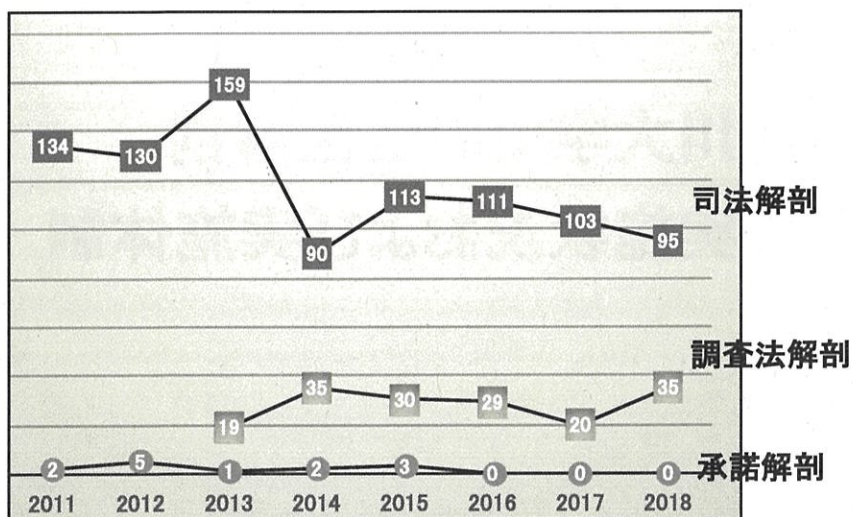


# 香川大学での法医解剖 の実施状況および実施体制

## 法医解剖数の推移 (1984-2018)



## 解剖種別の剖検数の推移 (2011-2018)



↑ 死因・身元調査法 施行

## 異状死体数 (2018年 香川)

全死亡数 : 12,188 人

異状死体数 : 1,530 人 (死亡数の約12.6%)  
 (警察の刑事:1,462 人、警察の交通:54 人、他の官庁14 人)

司法解剖数 : 95 人

承諾解剖数 : 0 人

調査法解剖数 : 35 人

} 130 人  
 (異状死体の  
 8.5%)

## 香川大学医学部 法医学

講座教員の定員（現在のところ、教員4名）

教授 1名（医師）

講師 1名

助教 2名（うち1名医師）

職員

技術職員 2名（うち1名再採用、1名は時間雇用）

事務 1名（時間雇用）

非常勤講師 1名（薬物検査）

派遣会社社員 1名

## 香川大学医学部 法医学

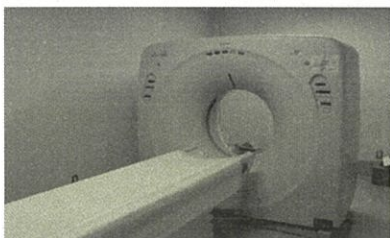
解剖実施体制

執刀医 1名（教授）

介助者 1名（教員または技術職員）

外回り介助および記録者 1名（技術職員）

（アルコール、簡易薬物等の）剖検時の検査 1名（助教）



## 香川大学医学部 法医学

### 解剖後の検査

薬毒物検査(精密分析) 2名(講師、非常勤講師)

組織検査の切片作成 1名(人材派遣)

プランクトン検査 2名(助教、技術職員)

